

個別テーマ計画書(添付1)

No	(d)
レベル-1項目	社会活動の中における「市民活動」の位置づけの明確化
レベル-2項目	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動は誰のためのものかの確認 ・市民活動と行政の(共創)関係の明確化
テーマ名	<p>「市民活動」の位置づけの明確化のために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズの現状分析 ・行政との連携や役割分担による信用力(ブランド力)の確保の検討を実施
現状	<ul style="list-style-type: none"> * 市民のニーズの現状分析が出来ていない * 信用力(ブランド力)のともなわない情報は活用されにくい * 市民活動分野ごとにWin-Winの関係を形成する連携がない * 市民活動の分野が幅広くよくわからない
実現方法	<ul style="list-style-type: none"> * 市民のニーズを知るためアンケート調査をおこなう * 他の成功モデルの調査、分析を行う(他県・市・町村など) * 上記二つの結果を基に社会活動の中における「市民活動」の位置づけを纏める
KP&担当者	KP:有川 担当:木嶋
目標スケジュール	約1年後を目処とする(詳細は作業工程表参照)。
概略予算	<ul style="list-style-type: none"> ・調査費(他県の報告書購入、アンケート調査票郵送など):50,000円 ・会議費(会場代、お茶):5,000円 ・検討報告書&提言書印刷費:5,000円
成果品の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・社会活動の中における「市民活動」の位置づけを纏める ⇒「市民活動との共創指針」に対応した「提言書」へ

作業工程表

JOBコード □-□-□-□-□-□-□-□-□-□

DOC. No. SKS-BF-PL002

年 月 日 作成 頁

御注文先	プロジェクト名称	納期	改訂	日付	摘要	作成	検討	承認	作成	
「経営マインドとプロジェクトマネジメント手法」WS講座	「市民活動」の位置づけの明確化のための検討の実施 (d)		0	2007/3/17	初発行	木嶋	黒沼	有川	有川	
番号	項目									
0	キックオフ									
1	担当決定、確認									
2	検討要領の検討&まとめ									
3	収集情報(他県・市・町村) & その分析・整理									
4	アンケート調査の実施 目的 & 分析方法を明確にした上で「アンケート内容」の起案 同実施									
5	「市民活動」の明確化(定義づけ) 検討会 検討報告書作成 市への提言書作成									
備考									承認	有川
配付先									検討	黒沼
									作成	木嶋

個別テーマ計画書(添付1)

No	(e)
レベル-1項目	市民活動の現状調査と分析の実行
レベル-2項目	①市民活動の情報集約 ②産学官民の連携状況把握 ③産学官民の市民活動の「マップ」作成
テーマ名	市民活動の ①現状把握(調査) ②分析・評価 ③発信 の実行
現状	・活動している人でも知らない活動をしている団体がたくさんある ・それらの情報はあってもないが役立っていない ・産学官民それぞれにおける活動の特徴・差異の認識不足
実現方法	* 現状把握(調査)の実施 * 同分析&評価の実施 * 産学官民それぞれにおける活動の特徴・差異を網羅した市民活動 の「マップ」とその維持管理要領の作成 * 市民活動情報提供のあり方&しくみの検討 ⇒市民活動支援センターHPへの提案
KP&担当者	KP: 担当:
目標スケジュール	約1年後を目処とする(詳細は作業工程表参照)。
概略予算	・調査費(他県の報告書購入、アンケート調査票郵送など): 50,000円 ・会議費(会場代、お茶): 5,000円 ・検討報告書印刷費: 5,000円
成果品の姿	・産学官民の市民活動の「マップ」 ・同上マップの運用の要領・手順マニュアル

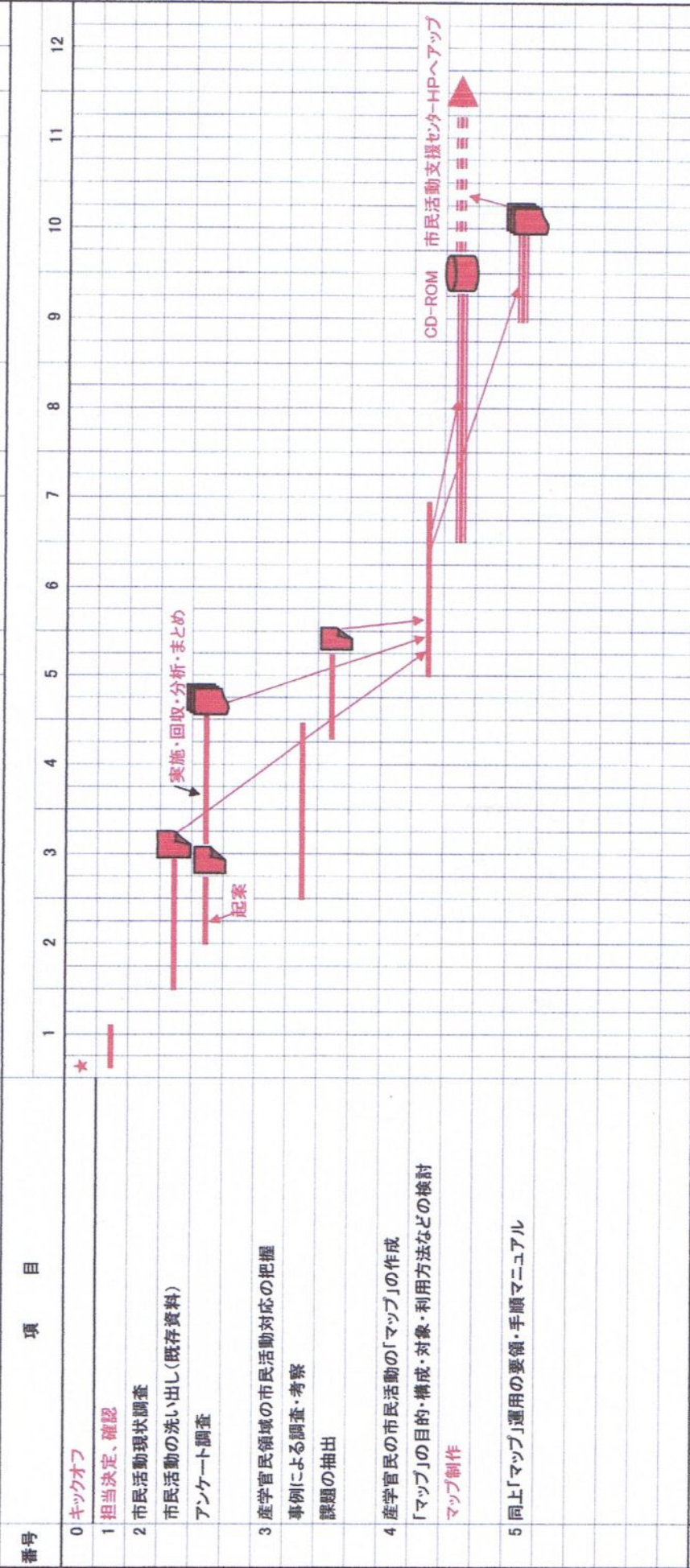
作業工程表

JOBコード □-□-□-□-□-□-□-□-□-□

DOC. No. SKS-BF-PL002

年 月 日 作成 頁

御注文先	プロジェクト名称	改訂 日付	摘要	作成 検討 承認
「経営マインドとプロジェクトマネジメント手法」JWS講座	市民活動の ①現状把握(調査) ②分析・評価 ③発信 の実行 (e)	0 2007/3/17 初発行		黒沼



備考	承認	検討	作成
		黒沼	-

個別テーマ計画書(添付1)

No	(f)
レベル-1項目	山形市策定の「市民活動との共創指針(案)」の内容との相関を考える
レベル-2項目	「市民活動との共創指針」の中にある『山形らしさ』を考えてみる
テーマ名	「市民活動との共創指針(案)のコンセプト『山形らしさ』を生かした地域作り」を実現する方法を検討し提案する
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・「山形らしさ」の定義がけがないことから、漠然としたイメージしかわからない。 ・山形県内4地域其々の特徴や持ち味が違う。共通イメージがない。 ・住民が「山形らしさ」(外部的・内部的)を意識・理解していないため、それらをうまく生かしてきていない。 ・「山形らしさ」の中にある、良いものの価値観を改めて見出す必要がある。 ・「山形らしさ」という定義というのは、ないのではないか？
実現方法	<ul style="list-style-type: none"> * 検討協力者の募集(山形市市民活動支援センターHP活用) * 山形市の「指針」の中の「山形らしさ」の読み込みと検討 * 情報収集の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・県内4地域に関する「歴史」「観光雑誌」など ・県内外事例(WEB、文献、資料、トレンド):海外からの関心度も * アンケート調査の実施(キャラクター、キャッチコピーの募集も含む)&分析、評価、報告書の作成:最初は関係機関・団体から? <ul style="list-style-type: none"> ⇒山形市市民活動支援センターHP活用 * 上記2項の結果を基に報告会にて協議し、山形市への提案書に纏める
KP&担当者	KP:田宮 担当:黒沼
目標スケジュール	約1年後を目処とする(詳細は作業工程表参照)。
概略予算	<ul style="list-style-type: none"> ・調査費(他県の報告書購入、アンケート調査票郵送など):50,000円 ・会議費(会場代、お茶):5,000円 ・検討報告書印刷費:5,000円 ・応募検討メンバー謝礼:2人(2回/月)×5,000円/月・人×10ヶ月=100,000万円
成果品の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・山形市の「指針」の評価検討書 ・整理・分類された収集情報・文献など ・アンケート調査、分析、検討報告書 ・上記報告書を山形市市民活動支援センターHP活用して市民の声を入手 ・上記市民の声を反映した提言書(山形市へ提出)

